

❁ 出世街道を爆走／その人生とは？

異例の出世 父は8代将軍：吉宗の旗本

西暦	年齢	出来事	石高
1735年	17歳	家督相続	600石
1748年	30歳	9代将軍：家重の小姓	2,000石
1758年	40歳	相良藩主となる	10,000石
1772年	54歳	10代将軍：家治の老中	30,000石
1785年	67歳	領地が増える	57,000石

一般的なイメージ
「賄賂政治家」

実際は…
将軍から信頼されていた！

【9代将軍：家重】

意次は「まとうどのもの」（誠実・律儀者）
「だから重用すべし！」と10代将軍：家治へ伝言

遠州相良藩 藩主
10代将軍：家治の老中兼側用人

田沼 意次
(1719~1788)



❁ 時代を先取り／先進的な経済改革

<田沼意次の使命>
幕府財政の立て直し

<基本理念>
年貢を増やさずに
幕府収入を増やす！

意次の改革政策

経済	<ul style="list-style-type: none"> ・商人に独占販売を許可し税を取る。 ・商品作物の増産 ・外国との貿易を拡大
公共事業	<ul style="list-style-type: none"> ・印旛沼の干拓 ・蝦夷地(北海道)の開発

- ・財政の改善
- ・景気の向上
- ・文化の発達
- ・インフラ充実
- ・産業が発展
- ・年貢が軽い

タヌマノミクス

相良藩では…

- ・田沼街道 (東海道藤枝宿～相良城下)
- ・相良藩の整備
- ・塩田の奨励
- ・防火対策 (助成金で藁屋根を瓦に)

相良藩の
人口が増加

現代にも通じる先進的な政策だった！

→明治維新の起点とも言われる。

2019年は生誕300年！ 今、牧之原市が熱い!!



ぶらり田沼の旅

防潮堤壁画の修復

没後230年法要

田沼意次を徹底的に
否定！

白河の清きに
魚も住みかねて
もとの濁りの
田沼悲しき
(流行した狂歌)

ところがその後…
田沼意正(意次の四男)
が1万石の相良藩主
になる。(1823年)

以後、明治元年まで
藩主は田沼家

悪評は陰謀？ 不運の田沼意次
なぜ「賄賂政治家」のレッテルが？

→老中失脚後に反田沼派が悪評をばらまいた。

- ・田沼罪状二十六カ条
- ・相良城の破壊
- ・寛政の改革 (1786年~93年)

さらに！
天変地異で世の中が混乱
・浅間山の噴火
・天明の大饑饉
・大洪水 など

田沼の政治が悪いからだ！